

ルクセンブルク経済・金融情勢（2014年1月後半）

1. 経済

- ルクスエアー社、3月末以降ロンドンへの運航を1便追加し、平日は1日6便の運航体制となる予定。（16日付ヴォルト紙電子版）
- アルセロール・ミタル社、当国最大労組であるルクセンブルク独立労働組合連合（OGBL）と、労使協約の更新につき16日に合意。なお、前協約は2013年11月末に失効していた。（17日付ヴォルト紙電子版）
- 2013年12月の失業率は7.1%（前月は7.1%、前年同月は6.4%）。（23日付統計局プレスリリース）
- 当地に設立された携帯電話会社であるJOIN Experience社（Post Luxembourg社が50%の株式を所有）、25日よりサービス提供を開始。（23日付ヴォルト紙電子版）
- 米格付会社フィッチ、ルクセンブルクの格付を「AAA」と維持し、見通しは「安定的」（継続）と24日に発表。（24日付ヴォルト紙電子版）
- 当地投資会社であるエラスムス・インベストメント・インターナショナル社、ルワンダの農業及び建設分野へ約30億ユーロを投資する契約に23日に署名。（24日付ヴォルト紙電子版）
- カーゴルクス社、医薬品物流規範に係るEU指令（GDP（Good Distribution Practice）指令）及びWHOの医薬品物通ガイドラインを満たす初の航空会社であると、認証会社である独ビューローベリタス社により認定。（29日付ヴォルト紙電子版）
- 1月の消費者信頼感指数は▲2で、前月の▲1よりやや後退。（30日付中央銀行プレスリリース）
- 国連貿易開発会議（UNCTAD）の海外直接投資（FDI）統計によると、2013年の外国からルクセンブルクに対する投資額は310億ドルで、世界15位。（30日付ル・コティディアン紙）

2. 金融

- 当地の決済機関であるクリアストリーム・バンキング社、米国の対イラン制裁措置に反したとして、米財務省より23日に罰金152百万ドルの支払いを求められた。（24日付ヴォルト紙電子版）
- 2013年12月末時点の当地所在の銀行は147行（9月末時点より2行増加）、銀行セクターにおける就業者数は26,232名（同5名増加）。（24日付中央銀行プレスリリース）
- 2013年の当国金融機関の引当金計上前利益は、52億5000万ユーロ

で、前年比9%増加。(24日付金融監督委員会コミュニケ)

3. 政府

- シュナイダー経済相、17日から19日にかけて当地で開催された2014年観光博覧会(Vakanz2014)の開会式にてスピーチ。(17日付政府公報)
- シュナイダー経済相及びディシュブール環境相、ヘデゴー欧州委員(気候変動担当)及びエッティンガー欧州委員(エネルギー担当)に対し、EUの2030年の気候・エネルギー政策につき、再生可能エネルギー分野において野心的な目標値を設定するよう要請する書簡を20日付で送付。(20日付経済省及び公共事業省コミュニケ)
- シュナイダー経済相、当地中国商工会議所「チャイナ・ルクス」の設立記念リセプションに21日に出席。(22日付ヴォルト紙電子版)
- ベテル首相及びグラメーニャ財務相、経済社会評議会開催の新年リセプションに22日に出席。(23日付政府公報)
- ベテル首相、FEDIL(ルクセンブルク産業連合)の新年リセプションにてスピーチ。(24日付政府公報)
- グラメーニャ財務相、ブリュッセル開催のユーログループ(27日)及びEU財務相会合(28日)に出席。(24日付財務省コミュニケ)
- ルクセンブルク・フォー・ファイナンス、モスクワ市対外経済・国際関係局と、ルクセンブルク及び露の金融センター発展に向けたパートナーシップ枠組を設ける覚書に27日に署名。(27日付ルクセンブルク・フォー・ファイナンス)
- シュナイダー経済相、ルクセンブルク開催の温度管理物流の展示会である「IQPC Cool Chain Europe 2014」に28日に出席。(28日付経済省コミュニケ)
- グラメーニャ財務相、モーリシャスとの二重課税防止条約改正議定書に28日に署名。(29日付財務省コミュニケ)
- シュナイダー経済相、ローマにて開催された製造業に関するセミナー「Friends of Industry」にて30日にスピーチ。(29日付経済省コミュニケ)
- ベテル首相(兼メディア通信相)、29日にSES社を訪問。(30日付メディア通信総局コミュニケ)
- グラメーニャ財務相、セメタ欧州委員(税務担当)と30日にルクセンブルクで会談。(30日付財務省コミュニケ)

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。